

農 業 だ よ り

講演会開催のご案内

最上8市町村農業委員会の合同事業ですが、一部の講演会は一般の方も聴講可能です。当日は新規就農相談の受付窓口も開設させていただきます。

講演会 『米をめぐる情勢と農林水産施策について』
講 師 東北農政局 山形県拠点 地方参事官室 最上地区担当
総括農政推進官 滝口 精治 氏

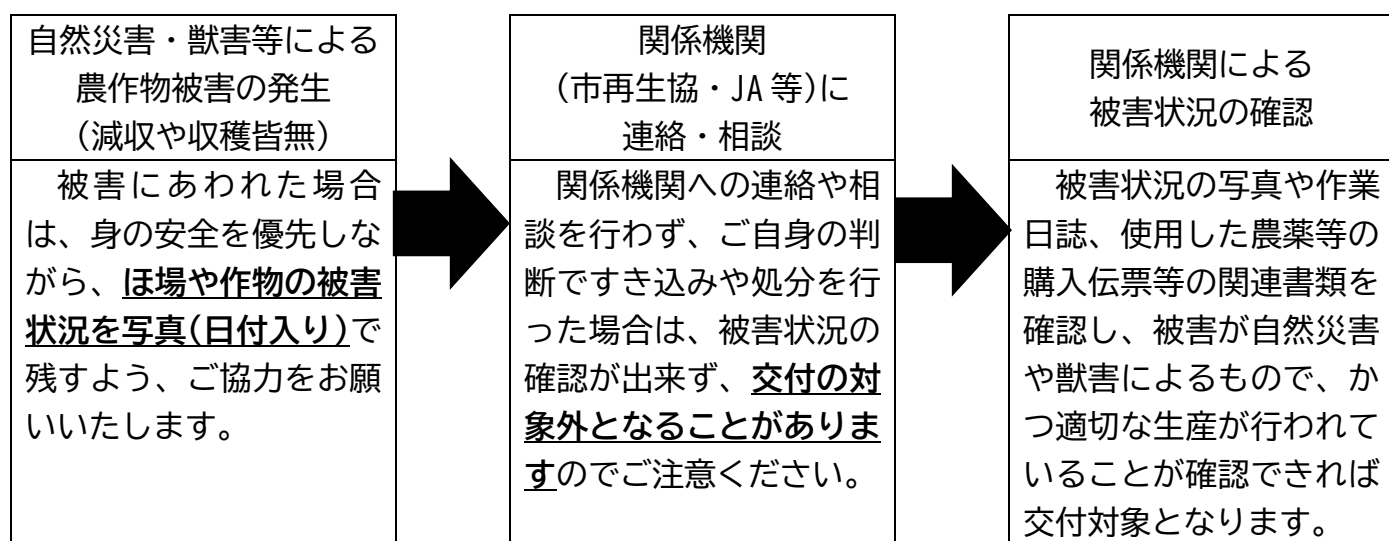
- 日 付 令和8年7月31日(金)
- 公演時間 13:15 ~ 14:30
- 場 所 東北専門職大学大講義室

【お問い合わせ先】 新庄市農業委員会事務局(TEL:29-5839)

経営所得安定対策等における 自然災害・獣害発生時の対応について

畑作物の直接支払交付金及び水田活用の直接支払交付金等については、自然災害や獣害などで収穫皆無となった場合でも、条件を満たせば交付対象となります。

その際には被害状況等の確認が必要になりますので、必ず関係機関（市再生協議会、農業共済組合、JA等）にご相談ください。



【お問い合わせ先】 新庄市農業再生協議会事務局(TEL:29-5835)

農作業中の熱中症に注意しましょう！ ～熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます～

農作業中の熱中症事故が多発しており、これからの時期は熱中症のリスクが高くなっています。適切な予防を心がけ、周りの人とお互いに声をかけ合うようにしましょう。

○注意事項

①暑さの感じ方は人によって異なります！高齢の方は特に注意が必要です！

- ・熱中症患者の大多数は65歳以上の方です。年齢を重ねると暑さや水分不足に対する感覚機能が低下し、暑さに対する身体の調整機能も低下しています。
- ・自分の体調の変化に気をつけ、暑さの抵抗力に合わせて、万全の予防を心懸けましょう。
- ・のどの渇きを感じていなくてもスポーツ飲料や経口補水液等でこまめな水分・塩分補給をし、暑さを感じなくても、日陰等を利用し、こまめな休憩をとるよう心がけましょう。

②周りが協力して、熱中症予防を呼びかけ合うことが大切です。

- ・単独作業を極力避け、二人以上の作業を心がけましょう。熱中症の予防を呼びかけ合うことで、熱中症の発生を防ぐことや、早期の発見に繋げることができます。

③節電を意識するあまり、熱中症予防を忘れないようにご注意ください！

- ・節電を意識しすぎるあまり、健康を害することのないようご注意ください。
- ・気温が高い日や湿度の高い日には、決して無理な節電はせず、適度に扇風機やエアコンを使用するようにしましょう。



○熱中症の予防方法

【暑さをしのぐ服装】

- ・帽子の着用 ・通気性の良い衣類、ファン付きウェア等の着用

【休憩、水分・塩分補給】

- ・作業前、作業中のこまめな水分・塩分補給 ・こまめな休憩

【熱中症になりにくい環境】

- ・ハウスや畜舎等の喚気 ・遮光や断熱材の施行等による温度上昇の防止
- ・気温の高い時間は外での作業を控える

○熱中症になった時の処置は

1. すぐに作業を中断し、涼しい場所に避難する。
2. 衣服をゆるめ、身体を冷やす。
3. 水分・塩分を補給する。
4. 自力で水を飲めない、意識がない等場合は、直ちに救急隊を要請しましょう。



早い対処は快復への近道です。疑いを感じたらすぐに対処しましょう。